

平成21年2月12日

各位

上場会社名 (株)ブロードバンドタワー  
 代表者 代表取締役執行役員社長 大和 敏彦  
 (コード番号 3776)  
 問合せ先責任者 取締役執行役員常務 佐藤 康夫  
 (TEL 03-5573-8181)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年6月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,250	40	40	15	164.65
今回発表予想(B)	5,231	121	119	△910	△9,986.43
増減額(B-A)	△18	81	79	△925	――
増減率(%)	△0.3	203.3	197.9	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期)	4,732	125	125	45	497.22

平成21年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,350	400	380	170	1,865.98
今回発表予想(B)	10,610	260	240	△860	△9,435.31
増減額(B-A)	△740	△140	△140	△1,030	――
増減率(%)	△6.5	△35.0	△36.8	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	9,783	358	351	191	2,103.13

平成21年6月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	30	30	10	109.76
今回発表予想(B)	4,648	93	90	△926	△10,165.84
増減額(B-A)	△151	63	60	△936	――
増減率(%)	△3.2	211.3	202.9	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期)	4,427	116	118	19	210.42

平成21年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,200	360	340	150	1,646.45
今回発表予想(B)	9,240	200	180	△900	△9,874.16
増減額(B-A)	△960	△160	△160	△1,050	――
増減率(%)	△9.4	△44.4	△47.1	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	9,030	337	333	118	1,297.55

## 修正の理由

## (1)第2四半期累計期間業績

当社は、次世代クラスタストレージ「ISILONシリーズ」の販売加速および連結子会社ビービーエフが展開するECシステム構築支援・運用サービスの提供拡大を行ってまいりました。また、既存サービスに加え、アプリケーションサービスの投入、ネットワークセキュリティサービスの開始などサービスラインアップの充実を行った結果、売上高につきましては、当初の予想数値をほぼ達成することが出来ました。

利益面につきましては、徹底したデータセンター設備運用の効率化によるコスト削減や全社的なコスト抑制活動に加えて、ECシステム構築支援・運用サービスにおいて、新規顧客獲得および既存顧客サイトでのEC販売額増加に努めてまいりました。

一方、当社の関西サイトの固定資産については、平成21年1月28日の「特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」にて適時開示を行ったとおり、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、特別損失として1,223百万円を計上いたしました。

このような状況を踏まえ、第2四半期累計期間業績予想数値につきまして、連結業績、個別業績ともに上記のとおり修正いたします。

## (2)通期業績

今後の経済情勢につきましても、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融危機、株価下落や急激な円高などにより、設備投資や景気の冷え込みが長期化・深刻化することが予測されます。当社をとりまく事業環境においても、前期に発生した既存顧客のネットワーク帯域の減少やデータセンターサービス一部の解約による定常売上の低下を新規の顧客獲得により着実に挽回してきておりますが、今後、データセンターサービスにおける競争激化や価格低下圧力、製造業向けのプロダクト販売の伸び悩みなどが影響を及ぼすものと思われれます。

このような状況を踏まえ、通期業績予想数値につきまして、連結業績、個別業績ともに上記のとおり修正いたします。

こうした厳しい事業環境ではありますが、データセンターサービスやホスティングサービスにおいてラインアップを充実させた付加価値サービスの販売推進、プロダクト販売における新たな顧客セグメントへの販売攻勢等を推し進めるとともに、継続したデータセンター設備運用の効率化や全社的な固定費の削減を実施し、収益向上にむけ全社一丸となって取り組んでまいります。

以上